

ゼスプリはゴールド/レッドキウイの強い需要を予測

[FreshPlaza 2024年11月27日](#)

ゼスプリが最近発表した5カ年見通しレポートでは、このセクターの2030年末に向けた軌道を分析し、チャンスと課題の両方に焦点を当てている。このレポートは、供給を上回るサンゴールドの堅調な需要を強調しており、ブランド製品に対して高い対価を支払う市場の意欲について、同社は楽観的である。ゼスプリのキウイフルーツは、15市場中10市場でトップ3の果実にランクインしており、ニュージーランド国内産と国際的に調達されたゼスプリブランド果実の両方に対する強い需要を示している。

レポートの予測は、サンゴールドが引き続き需要をリードし、2030年までに供給量が1億3千万箱から1億5,300万箱に増加すると見込んでいる。一方、従来からのグリーン品種については、生産者が他の品種に移行し、同じ期間に6千万箱から5千万箱に減少すると予想している。このグリーンキウイの供給量減少により、2030年までに1箱当たりの価格が28%上昇して9ドルになると予想している。また、サンゴールドとルビーレッドの価格は、1箱当たりそれぞれ19%上昇の12.50ドル及び32%上昇の16.50ドルと予測している。

一方、この報告書は、ニュージーランド国内の栽培面積を上回る推定8,387ヘクタールに拡大した中国でのサンゴールドの無許可栽培の問題を看過していない。違法な栽培により約4千万箱が生産されており、その一部がゼスプリブランドの偽造品として販売され大きな問題となっている。法的手段を通じてこの問題と闘う努力にもかかわらず、無許可の栽培品及び他の国際的な供給源との競争は依然として懸念事項である。

同報告書はまた、世界の中流階級の拡大、高齢者層における果実消費量の増加、及びCOVID-19パンデミック後の健康と栄養への関心の高まりに関連する主要な好機を見出している。供給の観点からは、ゼスプリは今後数年間、サンゴールドの追加のライセンスをリリースする意向であり、北半球での拡大についてはニュージーランド国内の生産者の投票待ちである。ルビーレッド品種は、現在は数量的に少ないが、2030年までに大幅な成長が見込まれる。(一部省略。「ドル」はNZドル(1NZドル=約89円)) 出典: [Farmers Weekly](#)

ふじリンゴのゲノムマッピングでスパータイプの鍵遺伝子が明らかに

[FreshPlaza 2024年11月27日](#)

リンゴは100カ国以上で栽培されており、世界で最も広く生産されている果実の1つとなっている。その中でも、コンパクトなサイズと生産性の高さで知られるスパータイプのリンゴの木が注目されている。しかし、この望ましい形質の遺伝的基盤は、最近まで完全には分かっていなかった。

国際的な研究グループがふじリンゴの全てのゲノムのマッピングに成功し、その過程で両方の親から受け継いだ遺伝物質を区別することに成功した。これにより、研究チームは74種類のふじのクローン品種を調べることができ、スパータイプの成長の仕方などのユニークな形質に寄与する体細胞変異の特定につながった。

研究の筆頭著者であるボイス・トンプソン研究所(コーネル大学内)のフェイ・ジャンジュン教授は、「生産者達はスパータイプのリンゴの木を賞賛する。それらは、密集した花芽を形成し、果実の収量が高い一方で、剪定が少なく済む。これにより、現代的な果樹園、特に栽培条件の困難な果樹園に最適である」と述べている。

レッドデリシャスとロールスジャネット(国光)のハイブリッドであるふじは、その甘い味とさわやかな食感でよく知られている。ふじのクローンがリンゴ品種の70%以上を占めている中国では、スパータイプの品種が農業にとって理想的とは言えない条件下でも耐性を示し、生産性を向上させた。

この研究は、成長の調節因子として作用する遺伝子MdTCP11を特定した。コンパクトなリンゴの木ではDNAのこの遺伝子の近くに顕著な欠損があり、それがこの遺伝子の活性を高め、より凝縮された果樹の構造を形成する。この研究ではさらに、スパータイプの品種はDNAのメチル化レベルが低いためにこの遺伝子の活性が高くなり、それによってスパータイプの形質が促進されることがわかった。

この発見は、コンパクトで耐病性があり、より持続可能な新しいリンゴ品種の開発に役立つかも知れない知見を提供しており、リンゴ育種の未来の可能性を秘めている。これらの発見は、農業の効率と持続可能性を高める上での遺伝子研究の重要性を浮き彫りにしている。 出典: [BTI](#)